

## 添付資料

### i2 の構成と動作説明

RaySafe i2 の基本パックにはリアルタイムディスプレイ、個人用線量計 4 個、専用アプリケーションソフトウェア、被曝線量ビューアが付属しています。

リアルタイムディスプレイには、タッチスクリーン機能付き 10.4” カラー液晶ディスプレイによる被曝情報表示・操作機能と個人線量計との通信機能を持つほか、USB ポートと LAN ポートもあります。個人線量計からの被曝データを受信して、カラーのバーグラフで表示するため、スタッフはリアルタイムディスプレイの表示を確認しながら、被曝を避ける行動をとることができます。また、被曝状況はリアルタイムディスプレイ内のメモリに保存され、USB メモリまたは LAN 経由でのアクセスが可能です。

個人線量計は、各スタッフが鉛エプロンなどの前面に装着して使用し、リアルタイムディスプレイと通信し、被曝情報を送信すると同時に内部のメモリに保存します。

右端の個人線量計は、クレイドルに装着された状態です。クレイドルは PC の USB ポートに接続して使用し、専用アプリケーションソフトウェアによって個人線量計の被曝情報を PC に取り込み、被曝状況の確認、解析、レポート作成などの作業が可能です。



リアルタイムディスプレイと個人線量計

## i2 のシステム全体像



リアルタイムディスプレイは各個人線量計の被曝情報をリアルタイム表示する他、USB メモリに被曝情報を出力したり、専用アプリケーションから LAN 経由で被曝情報にアクセスすることも可能です。

個人線量計からは、PC の USB ポートに接続されたクレイドルを経由して被曝データの取り込みが可能で、i2 専用アプリケーションによる被曝状況解析やレポート作成が可能です。